

緊急事態宣言が全国的に解除され、コロナウイルス感染者が減少傾向にある10月9日、第19回リック音楽祭が開催されました。密をさけるために屋外ステージでの演奏会となり、少し小雨が混じる中、心配されましたが実行されました。

小川高校の生徒さんによる司会進行の中、中国の楽器、二胡のやわらかい音色やなつかしい名曲の演奏、そして小川高校音楽部のコーラスが登場したあたりから心配された雨が降り出しました。次のハーモニカの演奏中、雨が本降りとなり一時中断し、止んだ後は、かわいい子ども達が中心の和紙のふるさと児童合唱団によるハンドベルや合唱がとても素敵でした。

町長エッセイ



東中の吹奏楽も素晴らしく、フィナーレはおがわウィンドアンサンブルの完成度の高い演奏に子ども達も加わり、パプリカの歌と踊りを交え、コロナ禍で皆さん思うように練習ができなかったと思いますが、それを感じさせない、とても明るい音楽祭となりました。

松本恒夫